

社会科学習指導案（地理的分野）

日 時 平成28年5月19日（木）第1校時
対 象 2年2組（男子20名 女子20名 計40名）
指導者 教 諭 佐 伯 暁 仁

1 単 元 「世界から見た日本の姿」

2 単元の考察

本単元は、世界的視野から日本を一つの地域として取り扱ったり、日本全体の視野から大まかな国内の地域差に着目させたりすることによって、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きの4つの観点から、我が国の国土の特色を理解させることを主なねらいとしている。日本の自然の特色として、山がちで平野部が少なく、川は短く、急流であり、自然災害が多いことが挙げられる。また、人口は約1.273億人で、世界的に見れば人口の多い国であるが、他方、少子高齢化が進み、さらに、近年人口が減少傾向にある。産業の特色としては、工業がさかんであり、臨海部には多くの工業地域が立地しており、特に自動車や精密機械の輸出については、世界的に見ても、1位、2位を争う国である。一方で、食料自給率やエネルギー自給率は低く、その多くを輸入に頼っているという現状もある。さらに、グローバル化の進展に伴い、国内外では様々な形態の交通網や情報通信網の整備が進んでいる。

生徒は、中学校生活も2年目に入り、意欲的に学習に取り組んでいる。アンケートによれば、地理的分野に関心をもつ生徒が29名（73%）、歴史的分野に関心をもつ生徒が28名（70%）であり、社会科への関心はまだ高められるように思う。また、地理的分野における興味・関心が高い内容として、世界の国名を覚えることを20名（50%）、日本の地域的特色について調べることを14名（35%）、時差を計算することを14名（35%）、地理の知識を知り、覚えることを12名（30%）が挙げていた。さらに、校区が広いという附属中学校の特色のため、ボランティア活動の経験のない生徒は15名（38%）と多かった。これらのことから、社会科の授業で獲得された知を、より実社会の中で生きるようなパフォーマンス課題を設定し、それに取り組ませる必要があることが分かった。

指導に当たっては、日本の国土の特色を大きくとらえさせるために、「日本は、経済に関してどのような国をめざしていけばよいだろうか」というパフォーマンス課題を設定する。その際、産業の視点から、「もの（物、サービス）」と「ひと」という2つの軸を設定する。そして、「もの」についてはTPP（環太平洋経済連携協定）と関連させて、貿易での輸出入について完全自由化を推し進めるか、全面的に保護していくかという対立軸で考えさせたい。また、「ひと」については、移民問題と関連させて、外国人を国内に全く受け入れないか、外国人の入国を全面的に受け入れるかという対立軸で考えさせたい。なお、本授業においては、2つの軸の交差する部分を、「日本の現在」の状況と設定して、生徒に自己の主張をもたせる。また、自己の主張に対して、根拠をもたせるためにどのような資料が必要なのか、主体的に考えさせていきたい。そして、これらの活動を通して、豊かで公正な社会認識をはぐくみ、主体的に社会の形成に参画していく態度を養っていくことにした。

4 単元の目標

- (1) 世界から見た日本の姿について関心を高めさせ、意欲的に追究させる。(社会的現象への関心・意欲・態度)
- (2) 日本の自然、人口、資源・エネルギーや産業などについて、多面的・多角的に考察させ、自分の言葉で表現させる。(社会的な思考・判断・表現)
- (3) 適切に選択した資料を基に、日本の人口分布や産業の特色について読み取らせ、ワークシートにまとめさせる。(資料活用の技能)
- (4) 日本の自然や産業の特色について、世界と関連付けて理解させ、その知識を身に付けさせる。(社会的現象についての知識・理解)

5 単元の指導計画と評価の重点 (全15時間) —— 評価 (授業中) —— 評価 (授業後)

主な評価場面と学習内容 (基本的な知識)	時間	評 価 規 準				主な言語活動の 具体的場面
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
世界の地形の特色について理解する場面 ○ 環太平洋造山帯 ○ 安定大陸 アルプス・ヒマラヤ造山帯	1			世界の地形の特色について読み取ったり、図表などをまとめている。【ノート】	世界の地形の特色について理解し、その知識を身に付けている。【ワークシート】	《読み取り・解釈》世界の地形の特色について読み取り、その位置や特色について解説する場面
日本の地形の特色について理解する場面 ○ 日本アルプス ○ リアス丘陵 フォッサマグナ ○ 大陸棚	1			日本の地形の特色について読み取ったり、図表などをまとめている。【ノート】	日本の地形の特色について理解し、その知識を身に付けている。【ワークシート】	《読み取り・解釈》日本の地形の特色について読み取り、その位置や特色について解説する場面
世界から見た日本の気候のちがいを考察する場面 ○ 季節風 ○ 四季 ○ 梅雨 台風 ○ 亜熱帯	1			日本の気候の特色について読み取ったり、図表などをまとめている。【ノート】	日本の気候の特色について理解し、その知識を身に付けている。【ワークシート】	《読み取り・解釈》日本の気候の特色について読み取り、その位置や特色について解説する場面
自然災害と防災の取り組みについて考察する場面 ○ 津波 ○ 土石流 ○ 高潮 防災マップ	1		日本各地で起きている自然災害について考察し、その様子を表現している。【ノート】		日本各地で起きている自然災害について理解し、その知識を身に付けている。【ノート】	《説明》日本各地で起きている自然災害について説明する場面
パフォーマンス課題の設定 世界から見た日本の姿を大きくとらえる場面 ○ 単元全体を貫く学習課題	1	世界から見た日本の姿について関心をもち、意欲的に追究しようとしている。【観察】	世界から見た日本の姿について考察し、その様子を表現している。【ワークシート】			《論述》世界から見た日本の姿について主張として論述する場面
世界の人口分布と変化が考察する場面 ○ 人口密度 ○ 人口増加 少子高齢化	1			世界の人口の分布について読み取ったり、図表などをまとめている。【ノート】	世界の人口の特色について理解し、その知識を身に付けている。【ワークシート】	《読み取り・解釈》世界の人口の分布について読み取り、その特色について解説する場面
日本の人口と過疎・過密問題について考察する場面 ○ 地方中核都市 ○ 過疎 地方指定都市	1	日本の人口の分布について関心をもち、意欲的に追究しようとしている。【観察】	日本の人口の特色について考察し、その様子を表現している。【ノート】			《論述》日本の人口の分布について読み取り、その特色について論述する場面
世界の資源・エネルギーについて考察する場面 ○ 鉱産資源 ○ 地球温暖化 再生可能エネルギー	1			世界の資源の分布について読み取ったり、図表などをまとめている。【ノート】	世界の資源・エネルギーの特色について理解し、その知識を身に付けている。【ノート】	《読み取り・解釈》世界の資源・エネルギーの特色について読み取り、その位置や特色について解説する場面
日本の資源・エネルギーについて考察する場面 ○ 水力発電 ○ 火力発電 原子力発電	1		日本の資源の特色について考察し、その様子を表現している。【ノート】	日本の資源の立地条件について読み取ったり、図表などをまとめている。【ノート】		《読み取り・解釈》日本の資源の分布について読み取り、その特色について解説する場面
日本の農林水産業について考察する場面 ○ 新種農産物 ○ 促進栽培 施設園芸農業	1		日本の農林水産業の特色について考察し、その様子を表現している。【ノート】	日本の農林水産業の特色について読み取ったり、図表などをまとめている。【ノート】		《説明》日本の農林水産業について説明する場面
日本の工業の特色について理解する場面 ○ 工業団地 ○ 太平洋ベルト 加工貿易 ○ 多国籍企業	1		日本の工業について、様々な資料を基に考察し、その様子を表現している。【ノート】		日本の工業について理解し、その知識を身に付けている。【ワークシート】	《説明》日本の工業について説明する場面
日本の商業・サービス業について考察する場面 ○ 商業革命 ○ サービス業	1	日本の商業・サービス業について関心をもち、意欲的に追究しようとしている。【観察】	日本の商業・サービス業の特色について考察し、その様子を表現している。【ワークシート】			《論述》日本の商業・サービス業について読み取り、その特色について論述する場面
グローバル化が進む世界について理解する場面 ○ ハブ空港 ○ 貿易摩擦 世界貿易機関(WTO)	1			世界と日本の結びつきについて読み取ったり、図表などをまとめている。【ノート】	世界と日本の結びつきについて理解し、その知識を身に付けている。【ワークシート】	《説明》世界と日本の結びつきについて説明する場面
日本各地を結ぶ交通・通信について理解する場面 ○ 高速交通網 ○ 情報通信網	1		日本各地を結ぶ交通・通信について考察し、その様子を表現している。【ノート】	日本の交通網について、様々な資料を基に考察し、その様子を表現している。【ワークシート】		《説明》日本各地を結ぶ交通・通信について説明する場面
パフォーマンス課題への取組 世界から見た日本の姿に関する作品として表現する場面 ○ パフォーマンス課題への取組	本時	これまでの学習内容を基に、意欲的に追究しようとしている。【観察】	これまでの学習内容を基に、意欲的に追究しようとしている。【ワークシート】			《論述》パフォーマンス課題について説明する場面
全15時間における各評価観点の配当時数		③	6+④	9	⑥	○数字は、授業後に行う評価の回数を表す。

6 本時の実際 (15/15)

(1) 主題 「日本は、経済に関してどのような国をめざしていけばよいのだろうか」

(2) 本時の目標

ア これまでの学習内容を基にして、これからの日本経済のあるべき姿について、関心をもち、意欲的に追究しようとしている。(社会的事象の関心・意欲・態度)

イ これまでの学習内容を基にして、これからの日本経済のあるべき姿について、様々な資料を基に考察し、適切に表現している。(社会的な思考・判断・表現)

(3) 主題の考察

本単元までに、日本の特色を大きくとらえるために、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きについて学習してきた。そして、「もの(物, サービス)」と「ひと」という視点で、日本経済のあるべき姿について、様々な資料を基にして、考察してきた。現在、国会では、TPP(環太平洋経済連携協定)についての審議が大詰めとなってきた。それは、日本の対外貿易においては、戦後の大転換とも呼べるものである。また、2020年の東京オリンピックを目前にして、外国人観光客も年々増加して、まさに、「もの」と「ひと」という2つの視点で、日本経済について考察していくことには、社会参画の視点という意味でも、大きな意義があると考えられる。

生徒は、小学校5年生の時に、日本の特色について、産業の様子や産業と国民生活との関連を学習してきた。アンケートによれば、日本の特色について、「日本製品は、外国人にとって人気がある」33名(83%)、「古くからの歴史がある国」29名(73%)、「経済的に豊かな国」28名(70%)、「第3次産業が発達した国」27名(68%)、「自然が豊かな国」26名(65%)と挙げている。また、「日本は外国人にとって住みやすい国である」として28名(70%)が挙げている。しかし、実際の日本の社会を見ると、まだまだ外国人にとって住みやすい国とはいえない現状があり、全ての人にとって住みやすい国とはどのような国か、考察させていきたい。

指導に当たって、これまで中単元ごとに取り組んできた、パフォーマンス課題「日本は、経済に関してどのような国をめざしていけばよいのだろうか」に対しての作品をまとめることになる。そして、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きという視点で、中単元ごとに作品づくりに取り組んできた。その際、「ひと」については、移民、外国人労働者、少子高齢化の問題、また、「もの」については、第一次産業における農林水産業、第二次産業における製造業や工業、第三次産業における特にサービス業や観光業におけるそれぞれの現状を、毎時間資料として取り上げながら、多面的・多角的に考察させてきた。本時では、大単元のまとめとして、パフォーマンス課題「日本は、経済に関してどのような国をめざしていけばよいのだろうか」に対しての作品を完成させる。そのために、協働の活動を取り入れ、他者の意見を伝えあうことで、自己の主張をより論理的に考察させたり、合理的な意思決定に基づく自己の主張にまで高めさせたりすることにした。これらの活動を通して、地理的事象を多面的・多角的に考察し、それを公正に判断し、表現する能力や態度を養っていきたいと考える。

(4) 研究に関する指導の工夫

【教科編4-2-ア 社会参画の視点でのパフォーマンス課題の設定】

生徒が単元を通して獲得した知を用いて、パフォーマンス課題に取り組み、社会参画の視点で日本についての自己の主張をまとめさせ、生徒の思考力・判断力・表現力を高めさせる。

【教科編4-2-イ 生徒同士の協働の活動による指導の工夫】

パフォーマンス課題に対する生徒の作品を、生徒同士の協働の活動によって、お互いに提案させ合うことで、練り上げさせる。

(5) 本時の展開 (15/15)

主な発問や指示	欄	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	情報提示の方法と内容
<p>〈問題把握〉</p> <p>○ 自己の作品を振り返ってみよう。</p>	5	<p>1 これまでつくってきた自己の作品を確認する。</p> <p>2 学習課題を設定する。</p>	<p>1 前時までに作成した自己の作品を視点を意識させながら、確認させる。</p> <p>2 自己の作品を振り返らせながら、学習課題を設定する。</p>	<p>ワークシート</p> <p>「日本は、経済に関してどのような国をめざしていけばよいのだろうか」</p>
<p>〈本質究明〉</p> <p>○ 日本経済の未来について、互いに提案し合おう。</p>	10	<p>3 グループで、自己の作品に基づく提案をする。</p>	<p>3 各自の作品を基に、「もの」と「ひと」における、それぞれの立場を明確にしながら、互いに提案し合わせる。【教科編4-2-イ】</p>	
		<p>↓</p> <p>【社会的な思考・判断・表現】 これまでの学習内容を基にして、これからの日本経済のあるべき姿について、様々な資料を基に考察し、適切に表現している。</p> <p>↑</p>		
<p>○ 自己の作品に基づいて、提案しよう。</p>	20	<p>4 全体で自己の作品に基づいて提案し、意見交換を行う。</p>	<p>4 各自の作品を基に、「もの」と「ひと」における、それぞれの立場を明確にしながら、互いに意見交換し、更に議論を深めさせる。【教科編4-2-ア】</p>	
<p>○ 自己の作品を、練り上げよう。</p>	10	<p>5 自己の主張を練り上げる。</p>	<p>5 グループや全体での周りの意見を取り入れさせながら、最終的な自己の作品を完成させる。</p>	
		<p>↓</p> <p>【社会的な事象の関心・意欲・態度】 これまでの学習内容を基にして、これからの日本経済のあるべき姿に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。</p>		
<p>〈洞 察〉</p> <p>○ 日本は、経済に関してどのような国をめざしていけばよいのだろうか。</p>	5	<p>6 日本の未来について考察し、発表する。</p>	<p>6 自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きという視点から、日本の特色を大きくとらえながら、まとめさせる。</p>	

□ は評価場面、 ○ は授業中における評価観点、 ▭ は授業後における評価観点

(6) 主な資料

資料1 GDPと観光収入の諸外国との比較

国名	観光収入 (100万ドル)	GDP (100万ドル)	GDPに占める割合 (%)
アメリカ	214,772	17,418,925	1.2
スペイン	67,608	1,406,855	4.8
フランス	66,064	2,846,889	2.3
イギリス	49,404	2,945,146	1.7
イタリア	46,190	2,147,952	2.2
オーストラリア	33,376	1,444,189	2.3
オーストリア	22,618	437,123	5.2
オランダ	22,667	866,354	2.6
合計	522,699	29,513,433	1.8
日本	16,865	4,616,335	0.4

デービッド・アトキンソン『新・観光立国論』より

資料2 外国人が選んだ日本百景ベスト15

順	景色名	都道府県
1	白川郷の合掌造り	岐阜
2	宮島	広島
3	乳頭温泉郷	秋田
4	清水寺	京都
5	出羽三山	山形
6	伏見稲荷大社	京都
7	屋久島	鹿児島
8	高野山の宿坊	和歌山
9	姫路城	兵庫
10	西表島	沖縄
11	さっぽろ雪まつり	北海道
12	恐山	青森
13	東大寺	奈良
14	青森ねぶた祭	青森
15	平和記念公園	広島

ステファン・シャウエッカー『外国人が選んだ日本百景』より

資料3 移民に関する新聞記事

EU大統領、移民問題で欧州諸国とドイツの結束を呼びかけ
11月9日、欧州連合(EU)のトウスク大統領は、欧州の将来はドイツが移民問題にどう対処するかに左右されるとの見解を示したうえで、他の国々は歴史的な試練に協力して立ち向かい、もっと結束力を示すべきだと強調した。ベルリンの壁崩壊から26年となった9日、ベルリンで開かれた記念式典での演説で述べた。欧州諸国にとって、中東などから流入し続ける移民・難民は深刻な問題となっている。今年には100万人前後が流入すると予想されており、その多くをドイツが受け入れている。

トウスク大統領が国境警備を強化する必要性を繰り返し訴えてきた一方で、ドイツのメルケル首相は、諸国が協力して移民や難民を受け入れ、負担を分担すべきだと主張してきた。こうしたメルケル首相の姿勢は当初、国内外で称賛されていたものの、移民の流入はとどまるところを知らず、ドイツの地元当局から収容能力が限界に達したとの声が出るなど、同首相を批判する声も高まっている。

トウスク大統領は「ドイツが開かれ過ぎ、寛容過ぎ、自由過ぎると考えている人は、われわれの悲劇的な歴史に関する宿題を忘れている人だ」としたうえで、「開かれた、寛容な、思いやりのある、弱く貧しい者に同情するドイツ、言い換えればアンゲラ・メルケルのドイツを望むか。それとも閉鎖的な、冷たく無慈悲なドイツを望むか。答えはひとつしかない」と述べた。さらに「他の欧州諸国は、困難な試練の時である今こそ、ドイツと結束しなくてはならない」と訴えた。

(2015年11月10日/ロイター)

資料4 TPPにおける重要5品目

農産品5品目と自由化率の関係		
品目	品目数	全9018品目に占める割合
コメ	58	0.6%
麦	109	1.2
乳製品	188	2.1
甘味資源作物 (サトウキビなど)	131	1.5
牛肉	51	0.6
豚肉	49	0.5
合計	586	6.5%

撤関5品目を除いた場合の自由化率 93.5%

※日本がこれまでに結んだ13の経済連携協定(EPA)の自由化率は84.4~88.4%

日本経済新聞社『TPPがビジネス、暮らしをこう変える』より

資料5 地中海で移民船が転覆したという写真

